



スピーカーベース「SPB-300DL」の場合。関谷様



オーディオボード「SCB-RS65G」の場合。竹澤様



インシュレーター「TITE-25GS」の場合。中田様



インシュレーター「TITE-35S」の場合。橋本様



オーディオラック「LSR-4S-MB」の場合。藤田様



スピーカーベース「SPB-300DH」の場合。平山様



インシュレーター「TITE-25GP」の場合。丸田様



オーディオボード「SCB-CS35D」の場合。光本様



インシュレーター「TITE-46GP」の場合。三好様

ルチを聴く際にも、部屋全体の混濁感が低減したのも素晴らしい効果と思えます。私のAVライフになくてはならないものとなりそうです。

インシュレーター「TITE-25GS」

和歌山県 中田様

高音の響きがとても良くなった

まず使用環境ですが、リンのユニディスク1、LP12、アキユレイトDSを中心に、天井高5m吹き抜け20畳程度の部屋で聴いています。

1週間くらい、聴かせていただいた感想です。まず最初「ビル・エバンスのピアノの音が少し音が澄んだくらいかな」という印象でしたが、シンバル、ハイハットの高音がシャーンを響くと、高音の響きがすごく良くなって印象です。しかし腰高になるのではなく、しっかり低音も出ます。伊藤君子のボーカルで、口元の動きが、以前にも増して鮮明となり、最近、聴いた小林香織では、一聴して解像度上がり、サクスの音が鮮明になりました。一番良いのは、あまり弱点がなかったことで、すっかり馴染んでしまっていました。

インシュレーター「TITE-35S」

愛知県 橋本様

重量級のスピーカーに適合

今年8月にスピーカーシステムをTADユニット(タテマツ音工箱入り)に変更しました。当初、木のブロックに載せて

いましたが、音がボンついて上手く鳴ってくれません。総重量が120kg以上のため耐荷重で安心できる物がなかなか見つかりませんでした。調べているうちにTAOC製品を知り、本機が1個当たり100kgまで耐えられるとのこと。今回運良く当選しました。見た目は小さいがしっかりとした鋳鉄製で、これなら重量級スピーカーもしっかり受け止めてくれるそうです。設置は、床上にクロススタイルを敷いてするためのインシュレーターを直に置くわけにはいかず、オーディオボード(TAOC SCB-CS75D)を購入し、その上にインシュレーターをスパイク向きで置きました。さて音出しですが、箱に入っているのはウーファーだけ。低音域だけ改善されると想像していましたが、中高音域も粒だつて聴こえま

音が充実し、SN比感よく聴こえる

北海道 藤田様

ました。立ち上がり感が向上して聴こえま

オーディオラック「LSR-4S-MB」

北海道 藤田様

本機を見ていて、以前から性能の高さが十分伝わってくるものがありました。また、性能だけでなく「家具」という位置づけで見ても、ぜひとも購入したいと思っていた逸品でした。

早速試聴開始です。お気に入りのジャズ女性ボーカルを聴いてみました。最初に感じたのはボーカル音源が小さくなく、

り、声の輪郭がシャープで、そこからワットと拡散する感じがします。いままでのラックでは音源が2まわり、3まわりも大きくなり、輪郭が曖昧な感じではやけていたのが改善されました。またピアノやシンバル、そして低音域であるウッドベースなど、どれもがボーカルと同じように音の粒立ちが明瞭になりました。音の密度感が高まり、また雑味感もなく、どうしてこんなに変わるのか不思議です。

スピーカーベース「SPB-300DH」

栃木県 平山様

低音のカタマリ感が圧倒的

スピーカーはJBL 4318で、とりあえず何も考えずにスタンドのみを交換してみました(スタンドとSPの間にはオーディオテクニカのメタルベースAT682を配置。音を出し圧倒的に違う点は「重心が下がった」ということです。先ほどまで使用していた木製ベースとどまの位置が近くになりました。「低域のカタマリ感」が圧倒的に上がりました。

木製スタンドではボヤけた感じとかタブつく感じがあったのですが、TAOCに変えてドラムのキックの音が弾けるようになりました。宇多田ヒカルでは明らかにボーカルのフォカスが向上し、渡辺香津美ではポナのベース音が実にForderらしい音で聴けました。全体的に4318をカッツリ鳴らす方向

で、個人的には好ましいです。

インシュレーター「TITE-25GP」

愛知県 丸田様

管球アンプの音に差が出た

いままで使った他社製品と比べて、音のひとつひとつに濁りがなく生きてきます。また、音の広がり感もより勝っているようです。いままでのものは1万円以下ですが、当たり前といえればそれまでですが、お金を掛ける価値は十分にあると断言できます。

聴いた音楽のジャンルの中で音の違いを強く感じたのは、ギターの音です。特に村治佳織やコンチのギターの弦の擦れる音などでその違いを実感しました。JAZZ系ではボーカルが他社の製品よりも温かみが出るように感じました。手持ちの機器で違いを感じたのはアンプに管球のパワーアンプを使った時です。トランジスタのアンプよりも管球式のアンプの方が、音に温かみが出るように感じます。

オーディオボード「SCB-CS35D」

三重県 光本様

温かみのある活き活きとした音に

音が上に向いて、以前から性能の高さが十分伝わってくるものがありました。また、性能だけでなく「家具」という位置づけで見ても、ぜひとも購入したいと思っていた逸品でした。

ぐらつきが収まり音質向上

東京都 三好様

マッキントッシュMC252用に本製品を期待していました。設置は、スパイクを上に向け受け皿を乗せて、パワーアンプを設置しました。上下左右から力を加えても全くグラつかず、期待以上の効果でした。具体的には、S/Nが良くなり聴感上の音量が増え、高音も低音もしっかり出るようになった、響きが高さ方向に広がりました。毎回新たな発見と感動を堪能させてもらっています。

インシュレーター「TITE-46GP」